

生物多様性からのめぐみ(=サービス)

金井 賢一

なぜ生物多様性を守る必要があるのでしょうか？

生態系サービス

生物多様性が作り出す自然は、さまざまな形で私たちの生活に恵みを与えてくれます。このようなめぐみを「生態系サービス」といい、4つに分類することができます。

<供給サービス>

暮らしの基礎となるサービスです。

食料や木材、絹や羊毛、農作物を品種改良する際の遺伝子、医療品や化粧品開発などの原料になります。また、生きものの形やつくりを真似るバイオミミクリーのヒントになることも近年注目されています。

ヤモリの脚先には、細かい突起を持った繊維状の構造があり、これがガラスなどの細かいすき間に入り込んでくっつくことができます。この構造を再現して、スマートフォンなどを壁につけることができる製品もあります。



<基盤サービス>

酸素の供給や気温・湿度の調節、水の循環など、全ての生命の生存基盤を支えているサービスです。

植物の光合成による酸素と二酸化炭素の交換、ダンゴムシや微生物などによって落ち葉や死骸などを分解して、他の生物が使えるようにすることなどです。



<調整サービス>

自然の中で、私たちの暮らしが守られているサービスです。

昆虫などが花粉を運んで実をならすこと、山の木々が貯水効果を持って飲み水などを確保してくれること、天敵が害虫を減らしてくれることなどが挙げられます。



今までに示した3つのサービスは、私たちが生きていくのに「必要」なものです。さらに、私たちの生活を豊かにする、楽しくしてくれるものが文化的サービスです。

<文化的サービス>

それぞれの地域で文化の多様性を支えてくれるサービスです。

マングローブや山など、独特な環境がレクリエーションの場となります。風光明媚な景観は、観光客などが訪れるきっかけとなり、地域の産業を支えています。郷土の祭りなどは、地元の自然を利用した衣装や道具を用いています。また、精神的・宗教的な価値を持っています。



このように生物多様性は私たちの生活に必要な不可欠です。また、現在私たちの周りで見られる生きものは、地球上で長い間、絶滅の危機を何度も乗り越えて生き残ってきたものです。そんな生きものを人間の都合だけで絶滅させるとするのは、道義的にも問題があるのではないのでしょうか。